

国際大学GLOCOM 地域SNS研究会

「国際大学GLOCOM 地域SNS研究会」は、地域SNSの運営者、開発者、および研究者が一緒になって地域SNSについて考えていく研究会です。国際大学グローバル・コミュニケーション・センター(GLOCOM)がホストし、2006年から運営しています。

調査研究

国際大学GLOCOMは、2009年度 NEC C&O財団 調査研究事業「SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)による地域活性化の現状と課題」に参加しています。

庄司昌彦は、2008・2009年度文部科学省科学研究費補助金(若手研究(B)「地域SNSの活用による地域活性化についての、研究枠組みの構築」研究課題番号20700230)を受けています。

地域SNSの概況

1. サイトの数と規模

全国で404ヶ所(2009年2月:地域SNS研究会調べ)、推計の70万人以上が参加。「数百人規模」のサイトが多いが、先進事例は1000~5000人規模。最多は佐賀県「ひびの」の約1万人。

2. 運営主体と目的

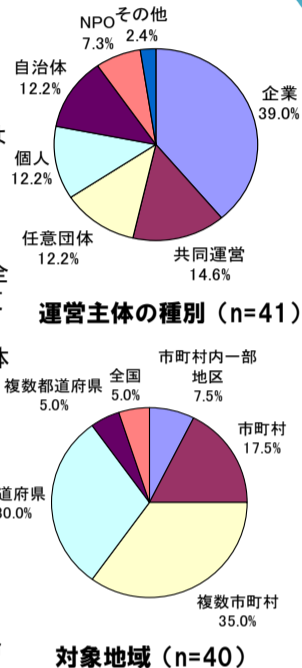
民間企業(システム開発、地域ポータル、通信、マスコミ等)がビジネス兼地域貢献で設けるものが多い。地方自治体「直営」は全体の1割強程度で、行政への住民参画や自治・まちづくり活動支援、市民活動支援目的のものが中心。また、持続的安定的な運営のため、NPOや個人が企業などと共同運営をしたり、任意団体を結成する例も多い。

3. 対象地域

最多は「複数市町村(“〇〇市とその周辺”)」を対象とするもの。「都道府県」、「市町村」を対象とするものが次いで多い。

4. 参加者

年齢は大手のmixiが20~30代前半で約8割を占めるのに対し、地域SNSは平均40歳前後。原因として、年齢層が幅広いこと、まちづくり等のテーマが高齢層にも関心を持たれやすいこと、高齢層が多く仲間を引き込んでいることなどが考えられる。



地域SNSの類型化と分析

国内外の地域SNS運営者に対する聞き取り調査やアンケート調査に基づき、地域SNSを分類。「人間関係重視か情報流通重視か」と「対象とする地域の広さ」という観点(軸)から地域SNSの5類型を提示し、それぞれの特徴や運営モデルの分析、将来展望の検討等を行っている。

各類型の特徴

類型1. 「情報・広い」

対象地域が広く、情報流通を重視。新聞、雑誌、ウェブマガジン、テレビ、ラジオ等の地域メディアと連携してSNS内の話題を外部に伝えたり、地域メディア連動コミュニティをSNSに設けることで、地域の情報流通をデザインしようとしている。人のつながりは他の類型に比べると弱い。地域ならではの話題を基にしたテーマ別オンラインコミュニティが形成されることもある。

類型2. 「人間・広い」

対象地域が広く、人間関係を重視。SNSの参加に際して招待制をとることが多く敷居が高いが、「場」としての信頼感や結束維持への意識が高い。互いに友人を紹介して結びつけ合うなど、人間関係の橋渡し(ブリッジング)も意識的に行われている。

類型3. 「人間・狭い」

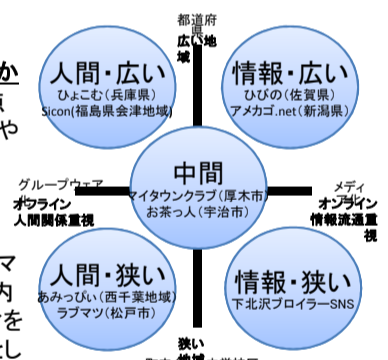
町内会などの比較的狭い規模を対象とし、人間関係を重視。日常的に顔を合わせるような人間関係を、SNSも使うことでさらに強化し、またイベントなどと結びつけることで相乗効果を生み出す。参加者を増やすことよりも人間関係の質を求め、参加に際して招待制をとることが多い。SNSはイベント企画・運営などのためのグループウェアを指向。人間関係が密で「安心」なため子供も参加可能。頻りにオフ会・イベントがあり、実際に集まる拠点がある。

類型4. 「情報・狭い」

狭い地域を対象とし、情報流通を重視。都市部のビジネス街やショッピング街などで、街を訪れる人々の緩やかな交流や口コミ情報の交換・集積などを目的とするものが多い。濃厚で持続的な人間関係よりも、有益でタイムリーな情報提供が求められる。この類型は事例が少ない。

類型5. 「中間」

人間関係・情報流通に関して中間的であり、地域も中間的に市町村規模を対象とする。行政が運営する地域SNSが比較的多い。さまざまなサークルや市民活動を自治体の公共施設やイベント等と関連させて活性化していくにはちょうど良いサイズの中で、この類型の地域SNSでは、公式オフ会をサークルや市民活動の発表の場として開催し、たくさんの人が参加して文化祭のように盛り上がる、ということがみられる。



交流・情報交換

研究会サイト

<http://www.local-socio.net>

全国の地域SNSの最新動向を紹介する「地域SNSニュース(2006年2月開始)」や、先進事例やさまざまなデータを紹介する「研究成果」などで構成。地域SNS研究や開発、関係者の交流・情報交換のためのポータルサイトとしてご活用いただいています。

各地のSNSの最新情報や、研究成果についての情報、コラムなどを募集しています。

研究会SNS

<http://sns.local-socio.net>

地域SNS運営者・開発者・研究者等、約100名が参加する招待制SNSです。地域SNSの運営ノウハウの交換、地域を超えた交流、イベントや執筆企画の相談や連絡等に活用しています。関係者のデータベースとしての役割も果たしています。

参加者(運営・開発・研究者)を募集中です。

地域SNS全国フォーラム

半年に1度のペースで各地の地域SNSがホストし、持ち回りで開催されている「地域SNS全国フォーラム」の企画・運営を支援しています。



第1回 地域SNS全国フォーラムinひょうご

日時: 2007年8月31日
会場: 兵庫県会館
主催: 兵庫県、財団法人地方自治情報センター、ひょうごふるさとづくり交流会議
テーマ: 「地域SNSが、地域を変える、社会を変える」



第2回 地域SNS全国フォーラムin横浜

日時: 2008年2月28日・29日
会場: パシフィコ横浜 開港記念会館 なか区民活動センター
主催: 第2回地域SNS全国フォーラム in 横浜実行委員会
共催: 横浜市、イベント創造プラットフォーム運営委員会
テーマ: 「持続可能なコミュニティ基盤へ」



第3回 地域SNS全国フォーラムin佐賀

日時: 2008年10月17日・18日
会場: 県立美術館、佐賀城本丸歴史館、県職員互助会館
主催: 第3回地域SNS全国フォーラムin佐賀 実行委員会
テーマ: 「つながりが生み出す「地域メディア」
~「もやい」は人を育て、地域を育てる~」



第4回 地域SNS全国フォーラムin宇治

日時: 2009年3月7日・8日
会場: 京都文教大学、宇治市生涯学習センター
主催: 第4回地域SNS全国フォーラムin宇治実行委員会
宇治大好きネット
共催: 宇治市、京都文教大学
テーマ: 「どっかりと市民に根ざせ! 地域SNSの輪」



第5回 地域SNS全国フォーラムin中国地方(予定)

日時: 2009年10月
会場: 島根県松江市、山口県宇部市、広島県尾道市

参考文献

庄司昌彦・三浦伸也・須子善彦・和崎宏、『地域SNS最前線 Web2.0時代のまちおこし実践ガイド』、アスキー、2007年。
庄司昌彦、「地域SNSサイトの実態把握、地域活性化の可能性」、情報通信政策 研究プログラム研究成果論文、2008年3月。
庄司昌彦、「連載コラム 「人をつなぐ」地域SNS ~各地のSNS活用術」、『広報』、(財)日本広報協会、2008年1月~2009年3月。

事務局・お問合せ先

国際大学 グローバル・コミュニケーション・センター(GLOCOM)
東京都港区六本木6-15-21ハークス六本木ビル2F TEL:03-5411-6735
庄司昌彦(講師/主任研究員) shoji@glocom.ac.jp